※令和４年度以降入学生用

学校番号	3002

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　現代の国語(第一学習社)						
副教材等	これからの国語（尚文出版） 漢字ボックス（浜島書店） 新訂版　最新国語便覧（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・いろいろなジャンルの評論文を読み、論理的に物事を考え理解する力を身に付けていきます。
・筆者の考え方に対して、自分の考えを論理的に文章にまとめる活動をします。
・また、課題に対して自ら考え、言葉としてその考えを表現し、それを通して他者との相互理解を深めていくために周りの人と協働で考える活動なども行います。
・家庭学習などの課題を提出してもらいます。とにかく自分の頭で考えることが出来るよう、あきらめずに取り組むこと。一朝一夕には力はつきませんが、コツコツ努力つづけることが、「能力を身に付ける」近道です。
・長い文章を読む癖をつけるため、図書館や朝読の授業を利用して、読書の習慣をつけましょう。
・定期的に副読本を使用して漢字の小テストを行います。しっかり取り組みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。

・語句の量や語彙を豊かにすることで、目的や場を踏まえた適切な語句選びの力と実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・言語感覚、論理的に考える力、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で相手を尊重し、思いやり、相互理解を深めながら伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者の主張を把握し、自分に照らして考えを深める。 ［教材］ 「生きもの」として生きる（中村桂子）	a：例示などの修辞を理解している。 b[読]：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 c：粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	主題に至る論の構造を把握し、主張の展開について考える。 ［教材］ 「本当の自分」幻想（平野啓一郎）	a：常用漢字を文や文章の中で活用している。 b[書]：自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 c：積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	登場人物の行動や心理をもとに場面の展開や論拠を理解する。 ［教材］ 羅生門（芥川龍之介）	a：主張と論拠など、情報と情報との関係を理解している。 b[書]：下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述している。 c：内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	文化の比較から，日本文化の特質について理解を深める。 ［教材］ 水の東西（山崎正和）	a：文章の効果的な接続の仕方を理解している。 b[書]：東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 c：水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	相手や場に応じた表現方法を学習する。 ［教材］ 論理的な表現	a：論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解している。 b[話／聞]：説得力を意識した表現の仕方について理解している。 c：進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	ワークシート 定期考査	発表・報告 定期考査	振り返りシート
2	「色」に関する筆者の考えに注意し、本文を読み取る。 ［教材］ 無彩の色（港千尋）	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 b[読]：ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握している。 c：本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	筆者の論を通して現代社会を読み解く。 ［教材］ フェアな競争（内田樹）	a：話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 b[書]：現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 c：書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	「僕」の生き方を通して人間の内面に対する考えを深める。 ［教材］ 鏡（村上春樹）	a：比喩や言い換えなどの修辞を理解している。 b[書]：恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述している。 c：自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	人前で話をする際の効果的な方法について学習する。 ［教材］ スピーチで自分を伝える	a：目的や場に応じた言葉遣いを理解している。 b[話／聞]：自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践している。 c：進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	ワークシート 定期考査	発表・報告 定期考査	振り返りシート
3	近代的な時間の概念について理解を深める。 ［教材］ 不均等な時間（内山節）	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 b[書]：近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 c：既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	表現の特質を捉え、主題について考察する。 ［教材］ 城の崎にて（志賀直哉）	a：読書の意義と効用を理解している。 b[書]：三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めるなどして、自分の意見や考えを論述している。 c：作品に表れた死生観を積極的に読み取り、意見をまとめて話し合おうとしている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	文章の読み比べ方を学び，比較する方法を理解する。 ［教材］ 法律の改正に関わる文章を読み比べる 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用している。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学んでいる。 c：複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	情報をまとめ、目的に応じた提案方法を学習する。 ［教材］ 理想の修学旅行をプレゼンする	a：情報を的確に紹介する方法を理解している。 b[話／聞]：情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践している。 c：今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。	ワークシート 定期考査	発表・報告 定期考査	振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間